

(10) 令和6年度 指定管理者モニタリングレポート

施 設 名	四日市市母子・父子福祉センター			
所 在 地	四日市市諏訪町 2 番 2 号		設置年月：平成 2 年 8 月 1 日	
指定管理者	名 称 社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会 代表者 会長 伊藤 八峯 住 所 四日市市諏訪町 2 番 2 号			
指定管理期間	令和 6 年 4 月～令和11年 3 月【指定管理期間 5 年、1 年目】			
担当部課 (問合せ先)	こども未来部 こども家庭センター TEL：059-354-8298 E-mail：kodomokatei@city.yokkaichi.mie.jp			
設置目的	ひとり親家庭等の心身の健康を保持し生活の安定と向上を図るため、ひとり親家庭等からの各種の相談に応じるとともに、生活指導及び生業の指導を行う等の福祉の増進のための便宜を総合的に供与する。			
設置の根拠 (法令、条例等)	母子及び父子並びに寡婦福祉法、四日市市母子・父子福祉センター条例			
施設の概要	敷地面積(㎡)	2, 120. 00	延床面積(㎡)	223. 03
	設備の概要	四日市市総合会館 4 階の一部を事務室（相談室含む。）として使用しているほか、講座・自主サークル事業においては、別途技能習得室や会議室も、用途、人数に応じて活用している。		
	事業概要	①ひとり親家庭等を対象とした各種相談受付 ②技能習得や仲間づくりを通じた生活の安定向上と自立支援のための講座等の企画実施 ③利用者の交流、親睦、協力関係を深めるための自主サークル事業の支援 ④親子や事業参加の家族同士が交流を深めることを目的とした事業 ⑤ひとり親家庭等の福祉の向上に取り組む関係団体の主体的活動を促進するための支援 ⑥施設の使用許可に関する業務		

■ モニタリングの総合コメント

業務の履行状況に関しては、仕様書や協定書どおり、確実な施設管理・運営が実施されました。

サービスの質に関しては、一定の水準が保たれています。ひとり親家庭等の相談事業は、ひとり親家庭等への支援施策に係る研修を毎月実施するなど職員のスキル向上が図られており、相談件数も着実に増加しています。また、技能習得事業や交流事業は、参加者のニーズに合わせた改善が行われ、アンケート結果からも満足度が高かったとの回答が多く得られています。

サービス提供の継続性や安定性に関しては、当該事業収支が赤字となったものの少額であり、団体の財務諸表(資金収支計算書、貸借対照表)などを分析した結果、経営状況に特段の問題はないと判断しました。今後は収支の黒字化が課題となります。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

今後の業務改善については、よりよい管理運営を目指して、下記について協議していきます。

- ・ひとり親家庭等の各種相談は、生活や子育て、就労等、多岐にわたることから、相談者に合わせ時間に縛られずに相談できる環境づくりや複雑化する相談内容に適切に対応するため、更なる職員のスキル向上による相談体制の強化。
- ・技能習得事業や交流事業では、以前から継続して参加する方が多いため、初めて参加する方も増やしていくために、参加しやすい時期の設定や親子で一緒に楽しめる内容、周知方法、費用負担についての検討。
- ・人件費縮減のため人員体制の見直しを含めた事業収支の黒字化を目標とした取り組み。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

ひとり親家庭等からの各種相談に着実に応じるほか、技能習得事業や交流事業の企画、四日市母子寡婦福祉会の支援や自主サークル活動の支援などを実施しながら、ひとり親家庭同士の交流の場や機会を提供、生活指導、生業指導を実施することにより、ひとり親家庭等の福祉の増進を図るという施設の目的に沿った運営管理が行われました。同時に、施設の使用許可を含め、市民の平等な利用の確保に努めました。

業務内容

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

条例や規則を遵守し、適切な事業運営がなされました。センターは、嘱託職員1名及び臨時職員2名が配属され、そのうち常時1名が事務所に在席しました。朝礼は毎日欠かさず行われ、職員同士の連携と情報共有の効率化が図られました。また、ひとり親家庭等への支援施策の研修会を毎月1回実施する等、センター職員の能力向上に努めました。

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

ひとり親家庭等の就労のための技能習得としてパソコン講座、親子や参加家族同士の交流を深めることを目的とした交流事業として飾り巻き寿司講座や親子デイキャンプが行われました。受講者や参加者の満足度も高く、評価ができます。相談事業に関しては、年々相談件数が増加している中でも適切な情報提供を行うとともに、こども家庭センター等の関係機関と連携した対応が行われていました。自主サークル事業に関しては、参加者数は昨年度と同水準ではあったものの、社会福祉協議会の広報誌等で周知活動に努めました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

毎日の利用状況や事業に関する事務書類を遅滞なく整備し、市への報告期限についても協定通り遵守されました。経理関係については、社会福祉協議会事務局で厚生労働省令第79号「社会福祉法人会計基準」に基づき適正な管理が行われました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

総合会館での安全管理及び緊急時対応を念頭におきながら、社会福祉協議会事務局と情報共有等の連携を図り、緊急時・災害時に備えました。四日市市社会福祉協議会第1次事業継続計画（BCP）には緊急時の対応が明記されており、当該計画の内容を職員一人ひとりが理解するよう努めました。防災訓練については、社会福祉協議会で行われた訓練にセンター所長が参加し、その他の職員に対してはその内容を共有するなどして、防災意識を高めました。

個人情報保護については、USBメモリー等によるデータの持ち出しを禁止し、パソコン等の盗難を防止するセキュリティファイヤーで固定を実施し、パソコン起動時BIOSパスワードの入力を求めることにより、第三者の不正アクセスを防止しています。また、個人情報が記載された書類等は施錠できる保管庫にて保管するなどの対策がなされました。

社会性（環境、障害者等への配慮）

コピーの裏紙利用、廃棄物の分類、不要な電灯の消灯など、センター職員自身が環境負荷を軽減するという視点を忘れず、利用者に対しても同様のことを求める等、環境への配慮が徹底されました。こどもや高齢者をはじめすべての利用者へ配慮し、適宜声掛けや対応を行っています。

事業収支

経済性

施設の経費削減や業務運営の改善による支出抑制に努めており、評価ができるものの、最低賃金の改正による人件費が増加し事業収支は赤字となりました。今後も人件費の高騰が見込まれることから、人員体制の見直しも含めた人件費削減の検討が必要です。

団体の経営状態

経営の健全性

財務諸表（資産収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表）などを分析した結果、特段の問題はありませんでした。社会福祉協議会の公共性や財政基盤も含め、経営は安定していると判断しました。令和6年度を対象とした監査においても法人の財産、収支及び純資産の増減の状況について適正であるとの報告がありました。

その他

障害者雇用に対する取組み

障害者雇用率については3.59%と、令和5年度の3.54%や法定基準である2.5%を上回っており、取組みは良好です。

令和6年度 四日市市母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	243日	245日	2日	委託提案事業開催数は、事業内の自主サークル活動において、一部について代表者の体調不良等による欠席のため実施できず計画を下回った。	適
開館時間	9:00～17:00	9:00～17:00	計画通り		
委託・提案事業開催数	86回	83回	△ 3回		
自主事業開催数	—	—	—		

2. 利用実績

項目			実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
延べ利用者数	利用者数	個人	4,514人	5,037人	523人	利用者数は実施計画数を上回ったが、委託・提案事業参加者数は下回った。	適
		団体	—	—	—		
		計	4,514人	5,037人	523人		
	委託・提案事業参加者数	643人	598人	△ 45人			
	自主事業参加者数	—	—	—			
	合 計	5,157人	5,635人	478人			
延べ利用件数			371件	366件	△ 5件		
平均利用人数（人/日）			21人	23人	2人		
平均稼働率（％）			66.6%	67.1%	0.5%		

3. 事業収支

項目		実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
収入	利用料金	—	—	—	指定管理料のみ。	適
	指定管理料	8,844,000	8,844,000	0		
	委託・提案事業	—	—	—		
	自主事業からの繰入金	—	—	—		
	計	8,844,000	8,844,000	0		
支出	人件費	7,606,000	8,267,428	661,428	〔勤務体制：嘱託職員1人、臨時職員2人〕 ・人件費は、最低賃金の改正などにより実施計画を上回った。 ・消耗品費は、複合機をリースへ変更したことや今まで郵送対応していた書類をメール対応に変更したことで、インク代や紙代等の経費削減につながり、実施計画を下回った。 ・賃借料は、サークル活動等の作品展に使用する展示パネルの展示方法を変更したことで枚数を減らしたため、実施計画を下回った。	適 (条)
	管理費	659,000	448,417	△ 210,583		
	消耗品費	232,000	89,356	△ 142,644		
	燃料費	0	0	0		
	印刷製本費	20,000	0	△ 20,000		
	光熱水費	0	0	0		
	修繕料	20,000	7,365	△ 12,635		
	通信運搬費	12,000	11,728	△ 272		
	広告料	0	0	0		
	手数料	8,000	3,700	△ 4,300		
	保険料	6,000	5,520	△ 480		
	委託料	0	0	0		
	賃借料	359,000	330,268	△ 28,732		
	その他	2,000	480	△ 1,520		
	事業費(ソフト事業等)	530,000	510,000	△ 20,000		
	一般管理費	5,000	1,000	△ 4,000		
計	8,800,000	9,226,845	426,845			
収 支		44,000	△ 382,845	△ 426,845		
自主事業	収 入	—	—	—	自主事業なし	—
	支 出	—	—	—		
	収 支	—	—	—		

令和6年度 四日市市母子・父子福祉センター 運営状況 チェックシート

項目		事業分析	適否判断
利用実績		相談受付件数が年々増加している中で安定的な施設運営が確保され、ひとり親家庭等の支援や関係団体の支援にあたることができたと考えます。 委託・提案事業は、技能習得事業・交流事業ともに計画通り実施されました。 今後も、親子や参加する家族間の交流を深めることができるような魅力ある事業の企画・運営を行い、初めての方でも参加しやすい取組みを求めています。	適
事業 収支	収入	指定管理料のみ。	適
	支出	消耗品費や賃借料の支出を抑えるなどの工夫が行われており評価ができるものの、最低賃金の改正により人件費が増加し事業収支は赤字となりました。今後も人件費の高騰が見込まれることから、引き続き管理費等の経費削減に努めるとともに、人員体制の見直し等も含めた人件費縮減の取組みを求めています。	適 (条)

令和6年度 四日市市母子・父子福祉センター 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	年度当初書面確認	明確になっている	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	—	—	—
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	R6. 3. 22 計画書確認 R7. 3. 31 報告書確認	仕様書通りに提出された	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	—	—	—
		収支予算書・決算書は提出されたか	R7. 3. 31書類確認	仕様書通りに提出された	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	毎月現地確認	随時情報共有が行われている	適
	各種管理記録等の整備 保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	毎月現地確認	整備、保管されている	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	毎月現地確認	整備、保管されている	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	毎月現地確認	整備、保管されている	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	—	—	—
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	毎月現地確認	仕様書通りに実装されている	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	毎月現地確認	該当事案なし	—
		事故等の報告書が提出されたか	毎月現地確認	該当事案なし	—
建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	—	—	—
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	—	—	—
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	毎月現地確認	整備・保管されている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	—	—	—
		法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか	—	—	—
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	毎月現地確認	整備・保管されている	適
	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	毎月現地確認	点検・保守が行われている	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に行われているか	—	—	—
清掃業務	清掃	清掃は確実に行われているか	—	—	—
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	—	—	—
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	—	—	—
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	毎月現地確認	管理されている	適
	防災	マニュアルは作成されているか	毎月現地確認	作成されている	適
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	—	—	—
	花壇管理	四季の植栽は適切か	—	—	—
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	毎月現地確認	センター入り口に設置・整備されている	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	毎月画面確認	更新されている	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	—	—	—
	システム管理	更新・変更は常になされているか	—	—	—
		トラブルに対応したか	—	—	—

総合コメント

各種計画書や報告書等の提出が遅滞なく行われており、職員の配置や緊急時の対応マニュアルの配備、備品の保守管理等についても仕様書通り履行されました。随時、市と指定管理者にて施設の状況や設備等の確認を行い、情報共有を行うことができました。

令和6年度 四日市市母子・父子福祉センター 事業の実施状況 チェックシート

事業区分	通し番号	項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
委託・提案事業	1	技能習得事業（パソコン）	ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と自立を促進するための技能習得講座として、パソコン講座を開催 定員は6名 令和6年9月～令和7年2月 実施回数は受講者と相談	106回、述べ211人の受講があった。	実施回数や受講日の設定を受講者と講師が相談をし決定する方法を継続することで、参加者の希望のスタイルに合わせた講座運営を行い、計画通りすることができた。	適
	2	交流事業（デイキャンプ）	ひとり親家庭の親子を対象に普段できないアウトドアの体験を通じて親子やひとり親家庭同士の交流の場を提供する。 定員は5組程度	1回、10人（4組）の参加があった。	市の広報やホームページに掲載、過去の利用者への案内を行い、広報活動を実施した結果、募集予定組数を集めたが、当日体調不良のため1組不参加となった。	適
	3	交流事業（飾り巻き寿司）	ひとり親家庭の親子を対象に飾り巻き寿司と一緒に作ることを通して親子やひとり親同士のコミュニケーションを取る機会を提供する。 定員は6組程度	1回、11人（5組）の参加があった。	市の広報やホームページの掲載、過去の利用者への案内を行い、広報活動を実施した結果、募集予定組数に達したが、当日体調不良のため1組不参加となった。	適
	4	サークル（書道）	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回	23回、述べ122人の参加があった。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
	5	サークル（編物）	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月2回	24回、述べ144人の参加があった。	継続参加者が多く、仲間づくりの機会・交流の場として定着している。	適
	6	サークル（和裁）	趣味を通じた生きがいやふれあいづくりを目的としたサークル 開催回数 月3回	34回、述べ100人の参加があった。	講師が夏場に体調不良で開催できない時もあったが、秋以降は前年度と比較して開催回数や参加人数が増加し活動することができた。	適

総合コメント

技能習得事業は、受講者のワード文書処理技能認定試験及びエクセル表計算処理技能認定試験の合格につながりました。受講者一人ひとりに合わせた受講日の設定やこども同伴での受講を可能とする等の柔軟な対応が取られ、アンケート結果でも技能・知識の向上や就労意欲の向上になったとの回答があり、評価できます。

交流事業については、過去の参加者からの声掛けで初めて参加する方もおられ、ひとり親家庭のコミュニティの輪が広がる交流になったことから、評価できます。今後も魅力ある事業の企画・運営を行い、初めてでも参加しやすい取組みを求めています。

自主サークル活動は、参加者から和やかな雰囲気毎で毎回楽しく参加しているとの声もあり、仲間づくりの機会・交流の場として評価できます。今後は、若年層の参加を促進することで交流の輪が広がり、活動が継続できるような環境づくりを求めています。

令和6年度 四日市市母子・父子福祉センター 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	随時連絡	毎月1回の連絡調整会議及び電話連絡にて十分な連絡を取っている	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	毎月現地確認	整備・保管されている	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	—	—	—
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	—	—	—
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	—	—	—
	修理	修繕工事は適切であったか	—	—	—
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	—	—	—
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	—	—	—
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	—	—	—
	修理	修繕工事は適切であったか	—	—	—
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	随時現地確認	速やかな対応ができた	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	随時現地確認	速やかに報告されている	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	随時現地確認	速やかに報告されている	適
	修理	修繕工事は適切であったか	随時現地確認	令和7年度予算を確保し実施予定	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	—	—	—
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	—	—	—
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	—	—	—
	修理	修繕工事は適切であったか	—	—	—

総合コメント

毎月1回の連絡調整会議及び電話連絡にて意思疎通を図り、備品の破損等（会議テーブルキャスター）について、速やかに市に報告されました。

令和6年度 四日市市母子・父子福祉センター サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運 営 業 務	使用許可、利用料金の徴収	スムーズに予約できたか	現地確認	スムーズに予約対応していた	適
		許可証は速やかに発行されたか	現地確認	速やかに発行された	適
	施設利用案内	行事開催案内の時期は適切か	開催案内報告書確認	開催数か月前に案内することができた	適
		ホームページは見易いか	毎月画面確認	画面構成・内容とも分かりやすいものであった	適
	受付・応対業務	担当者の接客態度は良かったか	随時現地確認	良好であった	適
		利用者に対する指導は適切であったか	随時現地確認	適切に対応されていた	適
		業務従業者は名札を着用しているか	随時現地確認	着用していた	適
	運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート	アンケートの結果を確認し、満足のいく内容であった	適
維 持 管 理 業 務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	放置はなかった	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	放置はなかった	適
	清掃業務	トイレトペーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	—	—	—
		全体的（駐車場を含）に、見た目が清潔に保たれているか	—	—	—
	安全管理業務	避難経路には障害物がないか	毎月現地確認	障害物はなかった	適
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	—	—	—
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	—	—	—
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	—	—	—
		草刈りや除草はされているか	—	—	—
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	毎月現地確認	快適に利用できる環境であった	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	毎月現地確認	分別が行われていた	適
	備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	毎月現地確認	放置はなかった	適

総合コメント

運営業務について、利用者アンケートを実施し、参加した親子に意見を聴取しました。交流事業においては親子でコミュニケーションを図って参加できる講座等の要望がありましたので、その実現に向けて検討する必要があります。

維持管理業務について、毎月現地確認を行いました。利用者が安心して利用できる環境が整えられていました。